

新潟県立 文書館だより 創刊号

平成13年5月1日

平成4年4月発足以来、当館はさまざまな歴史資料を収蔵し、保存を図り、調査を進め、閲覧に供しています。日ごろの活動を通じて、文書館の業務とその目指すところが多くの方に理解されつつあることを実感できるようになりました。さらにそれを推し進めて、当館を大いに活用していただきたいと思います、閲覧資料情報を発信することになりました。順次号を追って紹介しますので、御活用ください。今回は、昨年度から新たに閲覧が可能になった文書等を中心に紹介します。



当館書庫内の管理委任文書等

●平成11年度管理委任文書（県庁文書）

1608点。平成11年4月に県文書規程が改正されて、「長期保存」が30年間に短縮されたことに伴い、例年より多くの管理委任数となった（下表）。なかには明治期にさかのぼる県内各地の「普通水利組合設置関係書類」（市町村課）や、「保安林台帳」（治山課）等も含まれている。閲覧は原本のみ。閲覧室備え付けの「新潟県公文書簿冊目録」で検索のうえ請求してください。

（請求記号H99-課名）一部内容非公開あり。

課 名	点 数	課 名	点 数
文 書 私 学	73	農 地 管 理	428
市 町 村	21	用地・高速道路	10
管 財	8	道 路 維 持	3
福 祉 保 健	84	道 路 建 設	250
生 活 衛 生	157	河 川	53
商 工 振 興	2	都 市 計 画	40
稲 作 振 興	50	下 水 道	3
水 産	135	病院局総務	68
漁 港	7	企業局総務	8
林 政	8	企業局開発	32
治 山	22	人事委員会事務局	146
		計	1608

●国立史料館所蔵神社寺院明細帳（複写）

新潟県関係のうち54点。大正初期までに県が提出させたもの（新潟県の場合明治16年に県が地元から提出させた）を清書して市・郡単位にまとめている。今回閲覧可能となったのは下記のとおり。

神社明細帳：新潟市・長岡市・高田市・三条市・柏崎市・北蒲原郡・東蒲原郡・中蒲原郡・南蒲原郡・古志郡・三島郡・刈羽郡・中頸城郡・西頸城郡・東頸城郡・北魚沼郡・中魚沼郡・南魚沼郡・岩船郡・佐渡郡

寺院明細帳：古志郡・東頸城郡・西頸城郡・中魚沼郡

（請求記号 C04-KS）

ちなみに、明治16（1883）年の「新潟県神社寺院仏堂明細帳」は全県分が閲覧可能です。

●新潟県治報知（複写）

13点。明治6（1873）年～同18（1885）年。

現在の「新潟県報」の前身で、明治6年7月初代県令（県知事の前身）・楠本正隆が活字印刷による公報の必要性を考え、県に活版局を設置して頒布を始めた。当初の内容は、政府の布告・県の布達・官吏の任免・賞罰・物価の5項目であった。県行政の歴史を語る最も古い文書のひとつである。

（請求記号 C09-N）

●米軍（進駐軍）撮影空中写真

国土地理院所蔵のうち新潟県域664カットを2倍引き伸ばしで購入。原本は昭和21年から23年にかけて撮影されており、明治あるいはそれ以前をほうふつさせる農村部や、戦前の繁栄ぶりをしめす都市部が歴史的な町並みを多く残している様子も読み取れる。戦災の跡、旧軍施設の検証などにも有効。閲覧室備え付けの「米軍撮影空中写真目録」で撮影コース記号とコマ番号を確認して請求してください。

平成12年度 新たに閲覧可能となった文書等 (管理委任文書を除く)

	請求記号	名 称 (原本所在または発生地)	年 代	点 数	備 考
複 製 物	C04-KS	神社寺院明細帳(郡別)(国立史料館)	大正2	54	計3622点
	C09-N	新潟県治報知(県立文書館)	明治6~18	13	
		米軍(進駐軍)撮影空中写真(国土地理院)	昭和22~23	664	
	C1-MM	新潟県立高女卒業アルバム(新潟市個人)	昭和21	1	
	C7-H	泉園宛大江広海書状(新潟市個人)	近世後期	1	
	C88-F	中頸城郡尾神村・藤野家文書(県立文書館)	近世~大正期	2167	
	D1-OM	戊辰戦役殉難者祭祀資料(新潟市個人)	昭和20~40	12	
	D1-SK	新潟県視聴覚教育資料(県立文書館)	昭和20~30	680	
	D1-MH	新潟県内各地資料(新潟市個人)	明治29~昭和7	14	
	D26-O	工部省大野誠宛明治顕官書状(新潟市個人)	明治初・中期	16	
寄 贈 又 は 購 入	E3	中蒲原郡新津町・桂家文書(新潟市)	宝暦期~大正期	28	計6511点
	E54	中頸城郡柿野新田・竹田家文書(頸城村)	享保14~明治17	551	
	E88	佐渡国梅津村・市橋家文書(両津市)	延宝2~昭和期	2098	
	E103	中頸城郡石神村・林泉寺文書(頸城村)	天和3~大正11	2908	
	E113	県立水原高校旧蔵書籍(水原町)	大正13~平成8	89	
	E124	東頸城郡小谷島村・水沢家文書(浦川原村)	宝暦9~大正6	417	
	E132	(財)継志会機関誌「蒲原」80号(豊浦町)	平成3	1	
	E133	巻町立越前小学校平成9年度各学年だより等(巻町)	平成9~10	131	
	E134	「日本随筆大成」	昭和50~54	81	
	E135	治安維持法違反裁判関係資料等(新潟市ほか)	昭和2~37	26	
	E136	「往来証文之事」(弥彦村)	文化9	1	
	E137	北魚沼郡牛ヶ島村ほか文書(川口町、小出町、広神村)	近世後期	27	
	E140	中魚沼郡二子村文書(十日町市)	天和3~明治11	51	
	E141	佐渡国千本村・石塚家文書ほか(相川町ほか)	元禄6~明治11	97	
	E144	「新潟市産業要覧」・「新潟案内」	昭和4	2	
	E145	「実用書翰文」・「実用女子習字の栞」(手紙文)、(諸書式)	大正11~昭和4	3	
寄 託	F6	三島郡木島村・菅沼家文書(寺泊町)	近世~近代	189	計2759点
	F10	三島郡荒巻村・阿部家文書(和島村)	延享3~明治期	797	
	F11	新潟町・片桐家文書(新潟市)	貞享5~明治44	481	
	F13	越後・佐渡各地文書	寛文6~昭和戦前	471	
	F45	西蒲原郡角田浜村・大越家文書(巻町)	嘉永7~昭和16	164	
	F46	中頸城郡小萱村・池野家文書(柿崎町)	宝暦5~昭和26	505	
	F47	西蒲原郡西川周辺絵図	近世後期	1	
	F48	中頸城郡五日市村・小林家文書(新井市)	天和3~大正元	101	
	F49	良寛遺墨青山帖複製(吉田町)	昭和40年代	1	
	F50	南蒲原郡見附町・金井家文書(見附市)	近世初期~明治期	29	
	F52	阪口五峰著「北越詩話」原稿	大正7前後	20	

※原則として越後国は国名を、佐渡国は郡名を省いています。また、太字の文章は解説文があります。

●中頸城郡尾神村・藤野家文書（複写）

現吉川町尾神、1112号～1892号に至る2167点の複製化。明治10年代から昭和戦前にわたる地域単位の納税関係資料、大正期から昭和10年代にわたる郡会、村会、郡農会資料、昭和初期乗合自動車会社設立経営関係を始め、自家経営関係証書類多数を収める。（請求記号 C 88-F）

●新潟県内各地資料（複写）

嘉永6年 鉢崎関所被仰付候次第同勤方日記
文久3年 小泉蒼軒「越の長路」
明治29年 新潟県水災状況地図
明治42～45年 北蒲原郡北部小学校学事統計表
大正3年 北蒲原郡立中条農学校一覧表
大正9年 新潟県東頸城郡牧村村是
昭和7年 新潟市新潟商工補習学校校友会創立趣意書・会則ほか
昭和戦前 中越飛行場案内
昭和21年 隣組回報（農地改革）
上記を中心に14点。（請求記号 D 1-MH）

●大野 誠宛明治頭官等書状（複写）

16点。明治初年～同10年代。

北蒲原郡諏訪山村（現聖籠町）の儒学者大野耻堂（ちどう）の子誠（号樸花、1834～84）が工部省高官や長野県令を歴任した当時、受け取った書状。井上 毅（こわし）、井上 勝（まさる）、伊藤博文、大倉喜八郎、大鳥圭介、林 董（ただす）、土方久元、山岡鉄太郎（鉄舟）各人からのもので、政務上の意見交換が多い。すべて自筆書状であるので、各人の性格や当時の雰囲気などに直に触れるような気がして興味深い。（請求記号 D 26-O）

●佐渡国梅津村・市橋家文書

現両津市梅津、2098点、延宝2（1674）年～昭和17（1942）年。

梅津村は両津湾に面した扇状地上の大村で、近世は名主、明治以後の当主藤蔵は戸長、副大区長、村長等のほか佐渡三郡聯合会議員、県会議員、衆議院議員にも任じた。文書は村関係、家の経営関係、明治以後の公職関係に大別される。村関係は、宝暦期（1751～64）前後からの年貢割付状・皆済状が、家関係は金融証書類が、公職関係は明治10（1877）年前後の県相川支庁との連絡文書や同29（1896）年前後の県会予算案類が特色をだしている。平成9年度

購入。それ以前に相当量が流出したと見られる。閲覧は原本のみ。（請求記号 E 88）

●中頸城郡石神村・林泉寺文書

現頸城村石神、2908点、天和3（1683）年～大正11（1922）年。

林泉寺は真宗・高田本誓寺末で、先祖は甲斐国（山梨県）武田家家臣と伝える石神村庄屋・井澤幸助（浄空）が出家して同地に元禄時代（1688～1704）創立し、子孫が法燈を継いだ（現在は廃寺）。

本願寺からの免状・懇志受取状・過去帳・宗門手形など寺や宗門に係わる文書を始め、井澤家の開発にかかる石神古川新田の天和3年検地帳、年貢割付状・同皆済状（貞享2年～明治5年）などが文書群の中核を占める。圧巻は、林泉寺の娘常野（つねの）に関わる130点の書状である。10代で2度離婚ののち、家出同然で江戸へ上る波瀾に満ちた前半生が彼女自身の書状から窺え、そのなかで見えてくる地方出身者の江戸での生活や、頸城との間に巡らされた人脈、さらに常野と南町奉行遠山左衛門尉との接点なども興味深い。平成12年度購入。閲覧は原本のみ。（請求記号 E 103）

●三島郡荒巻村・阿部家文書

現和島村荒巻、1268点、慶長3（1598）年～明治22（1889）年

近世は、初期に三条藩領、長岡藩領、中期以後与板藩領であり、阿部家が庄屋を世襲してきた。慶長3年荒巻村検地帳（写）を最古とするが、中期以後のものが多い。寛政末年から明治に至る70年間の年貢上納銘々帳や取立帳からは、村内での年貢勘定の具体的な姿が読み取れる。また、嘉永年間（1848～54）に村を二分するような大きな動きがあったことを示す一紙文書が一群をなしている。閲覧は原本のみであるが、虫損等で痛みの激しいものが多いので、取り扱いに注意を要する。平成5年度 和島村・阿部典達氏寄託を再整理。（請求記号 F 10）

今回掲載しきれなかった分は次号以降紹介します。また、ホームページでもご覧いただけるように準備を進めています。

HPアドレス <http://www.lalanet.gr.jp/npa/>
Eメールアドレス archives@mail.lalanet.gr.jp

● 巻町立越前小学校平成9年度各学年だより等

131点。内訳は、1学年「ふたば」7点、2学年「風の子」41点、3学年「GAO GAO KIDS」1点、4学年「きせつだより」34点、5学年「HAPPY」19点、6学年「仲間19」15点、「ほけんだより」10点、「給食だより」4点。

巻町北部、角田山と日本海に近い児童数約100人の小学校。教育現場1年間の記録として史料価値は高い。平成12年度 新潟市・斉木一則氏（当時越前小学校長）寄贈。閲覧は原本のみ。

（請求記号 E 133）

● 治安維持法違反裁判関係資料

27点。昭和2（1927）年～同14（1939）年。

新潟地方裁判所における3.15事件（昭和3年）などの検挙者の予審訊問・証人訊問記録14点、司法省刑事局編集「思想研究資料」10点30種ほか。昭和戦前の司法省側の状況を知る貴重な存在である。平成12年度 東京都・向山寛夫氏寄贈。閲覧は原本のみ。裁判の概要は「日本政治裁判史録」（昭和・前）を参照してください。（請求記号 E 135）

● 新潟町・片桐家文書

現新潟市、771点、貞享5（1688）年～昭和30（1955）年。

近世初期から新潟町本町通りで大助買（おおすけご・鮮魚問屋）を営み、代々三九郎を称した。幕末編集の「記録写」や「魚町記録書留帳」を始め、全体の半数が家と鮮魚商業関係で、近世初期から明治に至る動向を知ることができる。また、文化年間（1804～18）に秤役・林家を継いだ人がいたことから秤改め等に関する「諸事書留」が伝わり、地域での秤統制の様子が分かる。このほか親類を含めて家系譜や年忌に関する文書が近世後期から多く残されており、当時の人々の家や先祖に対する考え方が具体的に分かることも特徴のひとつである。平成5年度 新潟市・片桐敬弑氏寄託を再整理。閲覧は原本のみ。（請求記号 F 11）

● 中頸城郡小萱（おがや）村・池野家文書

現柿崎町小萱、505点、宝暦5（1755）年～昭和24（1949）年。

近世関係は、宝暦5年年貢米金割付帳と文久2（1862）年の宗門人別帳、小物成萬雑帳、高付帳など数点である。近代以後は戸長時代の明治7年地引

図、地引帳、同10年代諸税課賦帳類、地券、小萱校事務掛時代の明治30年代学校経営文書がそれぞれ小群をなす。特に学校関係は具体的な経費の流れが分かるものが多い。またそのころから土地経営が始まったようで、昭和戦後に至る小作米帳群は20世紀前半の地域の作況を反映している。平成12年度 川崎市・池野満義氏寄託（千葉県栄町史編さん室仲介）。閲覧は原本のみ。（請求記号 F 46）

● 中頸城郡五日市村・小林家文書

現新井市五日市、101点、天和3（1683）年～大正元（1912）年。

村全体に関わる文書は天和3年検地帳、同4年名寄帳、元禄12（1699）年新田検地帳、同年名寄帳、寛保元（1741）年見取場反別書上帳で、いずれも写本。これらは享保期から明治の地租改正直前に至る160年間に起きた土地移動で作成された約90点の証文の存在と密接に関連していることがわかる。平成12年度 越路町・高橋健吉氏寄託（文書調査員・倉部繁夫氏仲介）。閲覧は原本のみ。（請求記号 F 48）

● 阪口五峰著「北越詩話」原稿

和綴製本20点、大正7（1918）年前後。

改進黨・憲政会系の政治家として県政・国政に長く携わる一方で広範な詩作活動に足跡を残している五峰・阪口仁一郎（1859～1923）が北越の漢詩と漢詩人についてまとめ上げた評伝集。今なお文化史の人名辞書として高く評価されている。その最終原稿である。平成12年度 新潟市（聖籠町）・大野 梓氏寄託。閲覧は原本のみ。（請求記号 F 52）

なお、県立図書館に近接時期のものが架蔵されている。

● 東頸城郡小谷島村・水沢家文書

現浦川原村小谷島、417点。宝暦9（1759）年～昭和2（1927）年。

大半が明治初年から同30年代の土地関係文書で、地租改正に伴う地価反別調査・地券調査や、その後の土地台帳といった当時の公文書が一連をなしている。一方、村（区）費の割り付け、学校資金の運営を示す文書も含み、水沢家の社会的位置を物語っている。閲覧は原本のみ。（請求記号 E 124）

編集・発行 新潟県立文書館

〒950-8602 新潟市女池南3丁目1番2号
TEL.025-284-6011 FAX.025-284-8737